



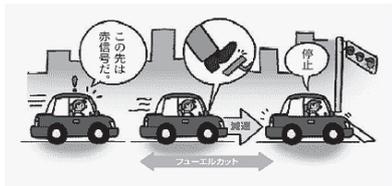
環境のため？家計のため？やさしい運転で事故防止？  
きっかけは何でもかまいません。今すぐエコドライブを  
始めましょう。

### ふんわりアクセル「eスタート」



発進時のアクセルはふんわりと、  
停車位置が分かたら早めにアク  
セルオフ。車間距離に余裕をも  
って加減速の少ない運転を。やさ  
しいアクセル操作は安全運転にも  
つながります。

また、エアコンは入れっぱなしにしない、タイヤの空  
気圧もチェック、使  
わない荷物やルーフ  
キャリアは降ろすな  
ど、こまめに確認し  
て運転してください。

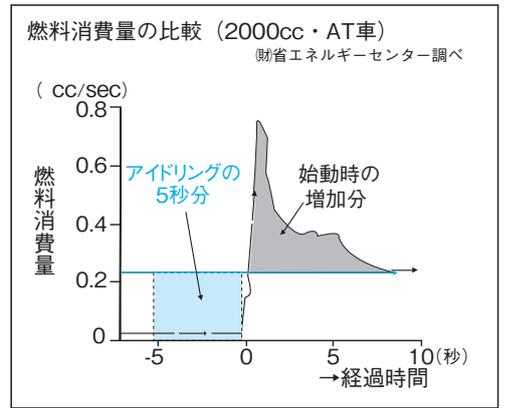


### 5秒から省エネ「アイドリングストップ」

エンジン始動時に増加する燃料はアイドリング5秒分。つ  
まり、5秒以上停車するときはエンジンを切ったほうが燃料  
は少なくて済みます。

1分の信号待ちでアイドリングストップを1日に10回する  
と、ニュートラルで停車してい  
るより年間47  
リットル省エネ  
となります。

まずは、慣れ  
た交差点での直  
進のとき、無理  
をしない範囲で  
少しずつ試して  
みては？



## ごみの減量・分別をすすめてみましょう

#### ◆市民1人当たり400キログラム

十和田市からの平成19年度のごみ排出量は26,670トン。  
これは、市民1人当たり年間400キログラム、毎日1キ  
ログラム以上のごみを出し続けていることとなります。

#### ◆排出量は微減したものの…

昨年度より総量で659トン、市民1人当たり5.7キログ  
ラムの減量となりましたが、種類別にみると、資源ごみ  
が減り続けている一方、燃えるごみは、市民1人当たり  
でみると増え続けています。

缶や紙類、ペットボトルは、資源化処理後に売却して  
処理費用に充てることができるが、燃えるごみは、収  
集量も多く、また、焼却後の灰も埋立処分となることか  
ら、埋立地への負担も大きくなります。

#### ◆市民1人当たり10,500円

ごみの「収集」から焼却・資源化などの「中間処理」、  
埋立「最終処分」までの処理は、本市と3町1村で組織  
する十和田地域広域事務組合が行っています。平成19

年度の事務組合へのごみ処理にかかる負担金は約7億円。  
市民1人当たり10,500円にもなります。

#### ◆減量・分別をすすめてみましょう

ごみを減量するためには、ごみそのものを出さないよ  
うにする、分別により資源化をすすめることはもちろ  
んですが、「生ごみは水切り」する、「草は天日で乾かし  
て」から出すことなどで大きな減量となります。

できること、知っていることは一つひとつ実行してい  
きましょう。

#### 年度別一般廃棄物の処理量

(単位トン)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
燃えるごみ	21,569	22,565	22,974	22,830
燃えないごみ	1,021	1,052	1,016	906
資源ごみ	3,101	3,076	2,962	2,565
粗大ごみ	401	432	377	369
合 計	26,092	27,125	27,329	26,670

**問い合わせ先** ごみの分別・出し方については 生活環境課 (☎⑤111内線225・226)  
ごみの収集については 十和田地域広域事務組合業務課 (☎⑤2654)